

豊富な資料を用意していただきありがとうございました。個別の学習指導計画や療育計画を読んでいて、こうしたことを一つ一つ指導していくのだということがわかり、とてもうれしく思いました。(資料を返却することになっていたのですが、課題例や目標例をうつさせていただきました)

子どもが成長していく姿を実際に見せていただき、手だてを聞きながら、先生のおっしゃる「希望を捨てちゃいけない」「このことならできるかもしれない」という思いを持ち続けたいと思いました。また、子どもに学習を選択させることにより、学ぶ意欲が爆発的に高まる実践を聞いて、学びたい気持ちを構成していく指導を自分も工夫してみたいと思いました。

行動改善へのアプローチは、実にタイムリーでした。特に、かれんちゃんの例は、今どうしていいかわからず悩んでいる子への指導に使えるそうだと思います。工夫します。

集団の力、学校の力、教師の力・・・改めて感じました。がっかりすることも多い現場でもあります。たくさんメモをとったので、学校に帰ってから伝達します。ありがとうございました。

「はじめてのおつかい」見てました。泣いてしまいました。(今日もうるっときました)とてもためになる研修でした。スライドが見にくかったところがありました。

遠くからおいでいただき、すばらしいお話をありがとうございました。

事例をあげていただくことで、具体的に保育の場を想像しながらお聞きすることができました。やはり、保育の現場でも「一人一人を大切に」ということを前から言われております。「あなたがいてくれて良かった」ということば、とても心に残りました。

一人一人の良さを見つけて長所を生かしながら伸ばすことはとても難しいと思うが、目標を見据えて、無駄なことはないと感じながら向き合っていきたいと思った。

いろいろな子どもの事例から学ぶことが多くありました。このような教育(支援)を必要としている子どもたちはたくさんいます。本気になって支援してもらえる環境におかれた者は幸せです。すべての子どもたちが平等に支援してもらえる環境作りに努めてほしいと願っています。

100人いたら100人が大切にされる教育を、教育にかかわるすべてで考えて行動にうつしていくことが大切、今の自分にできることには限界があるけど、今の状況でできることは精一杯取り組んでいきたいです(寺山中学校チーム力を借りて)

今一番頭に残っていることは、「子どもを正しく理解すること」。この正しく理解すると言うことを、もっと深く学んでいきたいです。

実際の例を示しての話で、自分の担当している子どもと重ねて聞いていました。ありがとうございました。

様々な事例をもとにお話ししていただき、自分の学校の生徒と少し当てはめながら聞いて

ていました。特別支援だけでなく、今回の個別指導は普通学級の生徒へもかかわってくる内容だなと感じました。

長所から始めて、苦手を少しずつ得意へつなげていく。所属感を感じることで自分の自信へとつなげる。すばらしいお話を聞くことができ、とても感動しました。学校の先生方へもお伝えしたいです。本日はお忙しい中ありがとうございました。ブログの方も毎日チェックしたいと思います。

石原先生の実践・経験に裏打ちされたお話は迫力があり、心に響きました。「いつかは必ずできるようになる（できるようにする）」ということばは、私たちにとって自分でもよく感じていること、考えていることです。といっても自分にできることは十分でなく、悩むことも多い毎日です。改めて勇気をいただきありがとうございました。先生の熱意あふれる言葉、ありがとうございました。

一番印象に残った言葉は、子ども理解の視点とそのアプローチの「畑を耕すことと花を咲かせること」であった。この意味することを学校全員で実践することが、一人一人の子どもを大切にする教育が実現できると感じた。

石原先生の実践の話の中から「きらり」とする言葉がたくさんあふれてきて、メモが間に合わないほどでした。

不思議です。特別支援研修なので支援についてのお話を聞いているのに、私自身が元気をもらった気がしました。ありがとうございました。きっと先生のお人柄なのでしょうね。

本日は遠くからおいで下さいましてありがとうございました。

支援の必要なお子さんに対して「どの子ども伸びる、どの子ども伸ばす」と言うことでお話をお聞きして、本当にこちら側の個別でお子さんをよく理解して関わり、ありのままのあなたがステキと、また、貴方がいてくれて良かったと毎日を過ごしていきたいと思います。

集団の力と自己肯定感を育てていくことで何とか学級をよりよい方向へ導いていきたい。ありがとうございました。

通常学級には、きちんと育ててあげられないと勝手に決め込んでいました。どこにいても担任としての私の思いと、保護者のみなさんの思いが大切なのだと気づきました。心の中で邪魔にしていたようなところがあり、反省させられました。

今おかれた状況で、精一杯の指導支援をさせていただくのが最善の策であると感じます。子どもの希望も読みとり、こちらの願いとの接点を持たせられるよう工夫努力していこうと思いました。ありがとうございました。

小学校の教育的な話やダウン症や重い自閉症の子どものお話だったため、日常の保育に重ね合わせるのが多少困難ではありましたが、このケースはあのケースに当てはまりそう、などと何となくリンクしている事例もあったので探りながら試してみようと思いました。

まずは、その子の存在を認め、子ども自身が周りから必要とされていることを実感でき

るように働きかけることが第一だと思います。まずはいろいろと試みてみます。

子どもの不適応行動をどのように考え、どう対応していくのか、日頃から考えていたことなので、参考になりました。一人一人の児童とかかわる中で、一人一人の良さを認めていきたいと思います。

具体的な実践事例を数多く紹介していただき、明日からの指導のヒントをいくつも得ることができました。方法論的なことはもちろんですが、子どもがこう変わったという事実、変われると信じる保護者の存在。指導するための意欲、勇気がわいてきます。先生の温かい語り口から、子どもたちへの思いが強く伝わってきました。

お話が聞けて良かったです。「ぼっけえ」ためになる講座でした。

先生が理論だけでなく、保育園児・小学生を白ゆり教室で育てて伸ばしていらっしゃるの、言葉に深みや重みがありました。発語がない子にも、信念を持って当たって伸ばしていく先生に頭が下がりました。

私も子どもに対して、思いを持って取り組んでいきたいと思いました。

具体的・実践的な内容を話していただき、本当に時間があつという間に過ぎるほど充実した内容でした。ありがとうございます。

本校の研究で取り組んでいる特別支援について熱い思いで取り組むのがとても大切だと実感しました。学習への支援、普段の生活での配慮、気遣いなど、普段の授業・学校生活で考えていたことについてアドバイスいただけたなと思いました。明日からあきらめず熱い思いでがんばっていきたいです。※郡山での研修は本当に勉強になります（最先端の、すばらしい講座です。昨年度田村から転勤してきて、そう思っています）

白ゆり教室のホームページで、石原先生の個別指導の予約が何ヶ月も先までびっしりとうまっているのを知り、いかにこのような個別指導を望んでいる方が多いかと思いました。（遠方から通っている方も多い様子）それと同時に学校での指導が保護者に理解されていない、信用されていない、そんなこともいえるのではと思いました。

実際、石原先生が行っている指導についてもう少し詳しくお聞きしたかったということもありますが、「どの子も伸びる」ということを日々の授業の中で少しでも実践できればと思います。ありがとうございました。

（表出言語のない子3名が受け持っている子の中にいるので、コミュニケーションがうまくとれるように明日からがんばります）

すばらしい先生のお話が聞けて、また、心新たな支援の考え方を気づかせていただきました。

とても勉強になりました。興味深い内容でした。実践例はどれも納得できる物でした。「得意の裏は苦手」「スモールステップとプロンプトフェーディング」「可能性を信じるこ

と」・・・心に残りました。教員として、親として、人間として、やるべき事、やりたいことが見えてきました。ありがとうございました。これからブログを見ていきたいと思えます。

学校の担任の言葉の強さや親としての願いの強さなど、日頃指導の中で忘れてしまいそうなことに気づかされた気がしました。もう少し、その子を見つめながら指導していきたいと思えます。

私がしていることも、石原先生のお話を聞いて少し間違っていないかとも思いました。感動して(嬉しくて)涙が出ました。ありがとうございました。

たくさんの事例を交えての話だったので、わかりやすかったです。今日学んだことを自校の先生方に伝えて、少しでも子どもたちの力になりたいなと感じました。

とても力のある、引き込まれるお話を聞かせていただいてありがとうございました。

何を目指し、何を育てるか、目標を持って支援をすることが大切なんだと改めて感じました。今日の研修したことを生かし、明日からの個別の学習に取り入れたいと思えます。

今日は本当に目からウロコでした。その子に合わせた特性・得意なことをいかに見きわめ、指導に生かすか、常にではなくても、ある必要な部分でうまく生かしていければいいと思う。

あらゆる子を受け入れるクラスの雰囲気作りについても、再度見直していきたいと思う。

自分の実践を振り返りながらお話を聞くことが出来ました。

構内での自分の立場、保護者へのアプローチ、子どもたちとの毎日の生活・学習指導のあり方などを見直して、よりよい実践を積み重ねていきたいと思えました。

子どもを深く理解するように努め、強い気持ちを持って支援することが大切であると分かりました。明日からまた、頑張りたいと思えます。ありがとうございました。

学校現場で引き継ぎの縦の線を強化し、担任が変わっても保護者が安心できるようにする。連携とは、同じ事をするのが連携ではなく、それぞれの役割を果たしながら、ともに目標を目指す。自己肯定感は集団の中でこそ培われる。

石原先生の講話の中で話された上記の事柄が、迷いながら指導に当たっている私にとってとても励みになりました。ありがとうございました。

自分の指導に光が見えてきた気がします。

子どもを見る視点、接するポイント、そして教師自身を見つめる視点。とても大切な時間をいただきました。やっつけようです。ありがとうございました。

重度の子への指導の実態と、子どもへ向き合うときの姿勢について学ばせていただきま

した。

具体的な実践事例を見せていただいたり、お話をうかがったりできて大変勉強になりました。

一人ひとりの実態にあった指導の大切さが分かりました。個別の学習指導計画のたて方や短期目標、長期目標の設定の仕方など、どのようにたてるのかについて、もっと知りたいと思いました。

今回の講義を受講し、一人ひとりと向き合い、その子その子に応じた指導を見きわめて行っていくことの必要性を感じました。しかし、そのためには、そういった環境と時間と人員が必要で、通常学級の中において抱えている特別な支援を必要としている児童に対し、担任として、同僚として、どのように対応していけばよいのだろう・・・とあらためて考えさせられました。今日は、ありがとうございました。

とても分かりやすい講義で、話に引き込まれてしまいました。ありがとうございました。明日から子どもに向き合うエネルギーをいただいた気がします。

先生の話を押聴しながら、自分の学級の子どもたちとその保護者の顔が浮かび、胸が苦しくなりました。子どもは天使だなあと感じ、涙が出ます。

私、最近おこりすぎてしまい、落ち込むことが多かったのですが・・・子どもが伸びると信じて、また前向きに頑張ります。ありがとうございました。

石原先生の子どもへの向き合い方、将来の子どもの姿を見据えての今の指導・支援をお聞きでき、とても感動しました。

先生のお話の中で、子どもの長所、出来るところを伸ばすこととその反面、出来ないことにも挑戦させていくことが大切だという内容であったと受け取りました。その中で、短所矯正と自閉症の子にも出来ないこと、苦手なことに取り組ませるという言葉、実践が私にとって衝撃的でした。私としては、自閉症が混乱することを少なくし、出来る範囲で出来るようにしていくスモールステップを考えていたので、先生の話聞き、とても刺激を受けました。

だからといって無理に取り組ませるのではなく、出来ることを足がかりにして取り組むと言うことだと自分なりに受け取ったのですが、それで良かったのでしょうか？もし、機会がありましたら、その点についてお話や考えを聞かせていただきたいと思いました。

実際の指導に当たられている先生の実践を教えていただき、あらためて子どもを信じて、地道に指導していくことの大切さを感じました。

その子にしかない輝きを輝かせてあげることのできるよう、集団としてのエネルギーを上手くコーディネートして、信じて指導していきたいと思いました。

石原先生 岡山から来てくださりありがとうございました。

スモールステップの大切さ、同じ児童にかかわって4年目、私も強く感じています。(や

っと最近になってですが・・・)実践例を紹介して下さりながらのお話はわかりやすく、子どもの可能性を信じてかかわっている姿、特に保護者とのかかわり方はとても勉強になりました。子どもだけじゃなく親にも寄り添う大切さも。

答えや結果を早急に求めてはいけないと思うようにしています。先日、研究公開があったのですが、4年目にして初めて担当の児童がうれしかった、楽しかったとコメントしてくれました。参観者の先生がひとり、彼によく頑張ったねと話しかけてくれました。彼が笑顔で終われたのが何よりです。今日のお話でまた、明日からトライしていきます。来年も是非お呼びしてください！

一人ひとりのお子さんの指導の事例をお話ししていただき、今、自分が直面しているお子さんの共通点を見つけ、どのような視点で、一人ひとりの得意な面、苦手な面をとらえていけばよいのか知ることができました。

一人ひとりの子どもをどう育てたいのかという思いを、保護者の方と話し合い、協力して指導に当たることが大切だとあらためて思い、これからのその方向で指導にあたりたいと思います。

先生の知識の中では、ごく一部だったのかとは思いますが、奥の深さが感じられました。今後ブログを読んで勉強したいと思います。

石原先生は、実際に教員を経験された方であり、現在の実践例が今現在困っていることに直結しており、大変ためになりました。ブログを拝見し、石原先生のお話をぜひと思っていたところ「センター研修に有り」と学校から教えてもらいました。大変感激しました。

人間の生き方も考えさせられ、先生ご自身のお人柄・人間性の豊かさが伝わってきました。研修センターの先生方にも感謝します。ありがとうございました。

支援計画は何のためにつくるのか、どんな支援計画にしなければならないのか、と言う根本の部分をハートに感じさせていただきました。ありがとうございました。

すごく悩んでいました。どうしたら覚えるだろうとか、どう言えば皆と同じように行動してくれるだろうかと。今日何を一番感じたか。それは、私自身の考え次第だと思いました。まずはその子を理解すること。行動を見て読みとく。私が理解することで子は変わる、まずよく観察します。何が得意なのか、苦手のうらにある物を見つけます。

クラスの子一人ひとりがひとりを認めるそんなクラスを担任はつくるべきだとあらためて思いました。今回希望してすごく良かったです。明日から努めるヒントたくさんいただいて帰ります。今日はありがとうございました。